

報

將胡技上月團々

浩堂



大正六年

大正第六年丁巳の年。乾坤清氣満ち、瑞雪
降りたり。皇運は天壤と俱に窮まり無く、萬
古の幸福を降す。
遠東、歐洲の天運もまた同じ、文明列國は、
砲煙彈雨の裡に新年を迎へり。世界の秩序何
の日に定まり、平和の陽光何れの時に人類
を照らす可き。歐戰の繼續は我邦に幸する
あらむも、若し一朝講和に及ばず、戰後の經
済戰に於ける日本の地位如何。戰後を見
よ。其の内治は依然として多難也。日本の之
に對する地位如何。大正五年は收穫の大なる
に驚喜せる如し。本年は明りに僥倖を期する
莫く。準備を怠る可らず。思ふに大正六年は
帝國多事の歲たるべし。政治にも、外交にも、
經濟にも、思想にも、總て舉國人心をして省
察、警覺、覺悟、振起せしむるを要す。吾人
は今日國民の實力を試験せらる可き機會の前
に立てり。敢て漫漶の人心を新たにして、國
家の命運を運轉せしむ可き時に屬す。大日本
主義の遂行の爲め、經濟的發展、民族の膨脹
に向つて、時運は吾人に舉國一致を要求しつ
つあり。國は益々富まんことを欲す。兵は意
々強からむことを欲す。最高の文化は最盛の
武備ありて完し。實は、斯處をして更に多
幸ならしめん。

長谷川

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

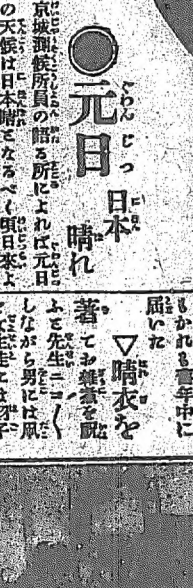
の

の

の

の

川三之介
丁目
城日報



とるや谷村堅吉以下神祇各職員
びに地方官氏子幾代等著床祓主
の詞を奏して大祓の行事を行へば

泉川其國川豐松本氏正岡飯田武原基
 是立米太氏野久大武野庚久郎口武八郎
 二北西名倉成登登島海増田滋太郎
 のをうたひ歸つてまた御馳走やせ
 桑子をいたときながら歌留多や「坊
 玉めくり」をいたします

發行所 鈴森 京城日報社



△四方拜御儀

后、主事等整列す。斯くて、兩座正殿の玉座に著御あらせられ十一より大勲位親任官大臣待遇、元帥臣禮遇、親任官待遇、貴族兩院議員禮遇、從一位、勳一等、一等官貴公卿、副院長侯爵正二位二等官、少府院副院長侯爵正三位二等官、香間祇候、錦旗間祇候以上同夫人拜賀を受けさせられ

十一時より神佛各宗僧長、三等奏任待遇等の拜賀受賀を受けさせれ午後二時より各國大公使同節員

衆衆 藤藤 の 官官 同同
宮中には四方拜の外に一日祭の御祭
あり。一日祭といふは一月一日の御
寶所、皇靈殿神祇の御前に施旦の
御祭典を行はせらるゝの謂にして四
方拜に先ち
掌典長以下掌典をして
之を行はしめ給ふ。先づ午前四時と

一月四日 天皇陛下には内閣へ出御
 まし、政治始御式を行はせらる
 併し内閣は臨御を仰ぎ奉る適當の室
 なきを以て例年宮中東御間に出御
 御式を行はせらる
 多分本年もかくあらせらるべく推察

學者間、隨候、侯爵、正二位、高等官一
 等、功二級、錦鏡間祇候、勅任侍遇、
 國大使公使等にして、天皇陛下に
 定、親各官殿下、宮内大臣、侍從長、
 從武、官長式部部長官の屬從にて出
 あらせられ、千種間に列立の大廳
 各大臣各國公使に通御の隙

新年宴會は
特に大勉強

大いに寶所。皇靈顯赫を御拜あら
せらる。宮中に於ては此の御儀顧る
重大の祭祀となし明治天皇陛下には
餘儀なき御事情の外は齋戒する朝五
時の寒殿をも物ともされず必ず出御
ましめて親し御拜あらせられ天
下泰平五穀豐饒の御神念を籠めさせ
給へり。今日陛下また先帝の御遺志

夫人手書三卷以上は、外人の拜賀を奉待て過す。又、外人に勳四等以下六等以上の外國人に拜賀を受けさせらるゝ地方に在り高第官並に有爵有位有職者は同賀表を奉るゝされば天皇陛下に早朝執嘉殿に出御四方拜を行はせひてより百官の拜賀を受けさせらるべき正服より入御あらせらるゝき

四方拜一日祭を済まし給へる後天皇
皇陛下には皇后陛下と共に晴れの御
膳を召させられ午前十時三十分とい
ふに早くも兩陛下御同列にて鳳凰
間に御出帆らせられ各皇族同妃各閣
下並に宮内親衛任等の拜賀を受けさ
せらるる方廻りて

兩陛下には各皇族

一日拜賀に次いで二日には天皇皇后兩陛下午前九時三十分宮中正に出御、伯耆、從二位、顯二等、子正從三位、顯三等、男舅、正從四位同夫人の拜賀を受けさせられ九時五十分より四等官、五等官の賀、同十時三十分より貴族兩院議員、

△三日祭

宮中には一月三日の朝にも、賁所自
監臨神殿に御祭典を行はせらるゝ二
日に異なり、其の祭典の次第は二日四
祭と同様、皇長以下、筆典之を奉仕す
我々も一日務めにまじり出で候へば、
れざる時は宮内の勅任官を以て御祭
典を奉仕せしめらるゝことが慣例也。

して三八の四開書版、有妙年、安和に奉

宮中には一月三日の朝にも寶所自
靈殿神殿に御祭典を行はせらるゝ一
日に異ならず其の祭典の次第は二日
祭と同様祭典長以下掌典之を奉仕す

跌打

御膳所・臺閣神祇の所を開き、
 皇親・戚は各折敷高杯大本折敷に
 合酒二瓶の神饌を供し、本殿には
 米、酒、餅、海魚、川魚、海菜、
 菜、菓作、煎鹽、水等以上十量の神
 饌を供し、掌典長祓詞を奏す。而して
 陛下には四方拜の

事等通々常服着用泉原・清間に参集し
 廳長會計検査院長長官祝賀東京府知
 事等並に、當日午前十時各大臣樞密院
 せらる。同日午前十時各大臣樞密院
 伊勢宮二外りる
 祭主より同年中

して三八の四開書版、有妙年、安和に奉

元旦試刀
南山
大石 叔
文曰海日生

跌打

南山
大石
文曰海日生

豐明殿に入らせらる。かて諸員
敬禮の中に、陛下には玉座に奉御
いて各員定席に若も館裏の光榮に
する次第也而して、天皇陛下には
日内外文武官に對し體溫なる朝服
賜ひ國民を代表して總大臣閣下
奉陪する處あり客國外交部を代
表する處あり各國外交部の計とす

此皆代吏明察等々の計と言はす

大邱府廳
竹崎六次郎
前原重晴
植松正一

元旦試刀
南山
大石 叔
文曰海日生

新 年

大邱府廳
竹崎六次郎
前原重晴
植松正一
君ク袋康
戸田正
山本春吉
趙田明智
豐田長智
末野勇熊
大場倉藏
伊藤勘吾
佐藤宏央
小川宏一
辻本德三郎
山井俊助
片山重太郎
池原興人

謹賀新年

京城電氣株式會社

謹賀新年

三巴酒造場

電話長一〇六七番
振替京城六一八番

三巴平壤店

電話長五一一番

三巴大支店

電話長一二五番

謹賀新年

朝鮮銀行仁支店

電話一一一番

十八銀行仁支店

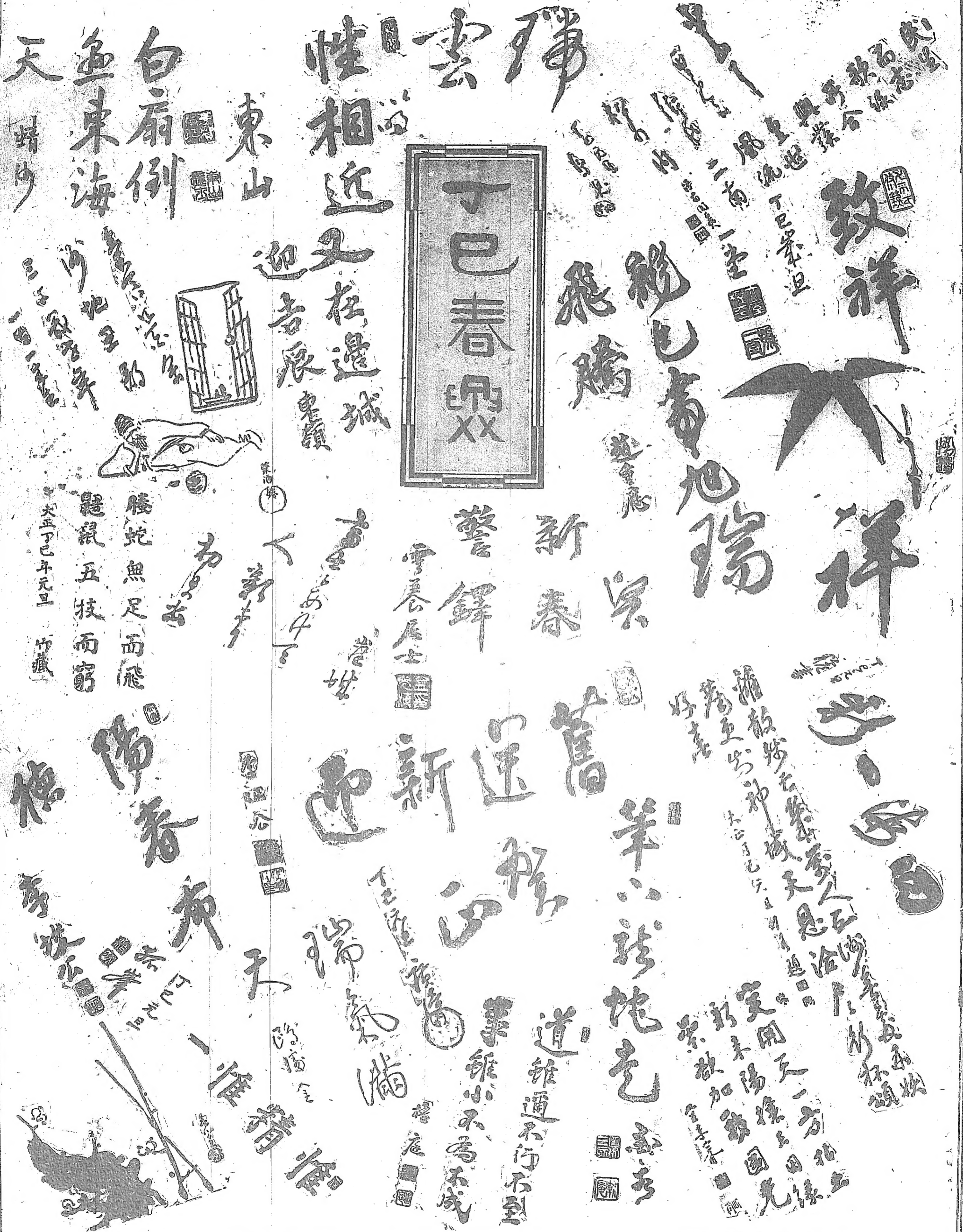
電話一八番

大百三銀行仁支店

電話五八番一〇二番

朝鮮銀行仁支店

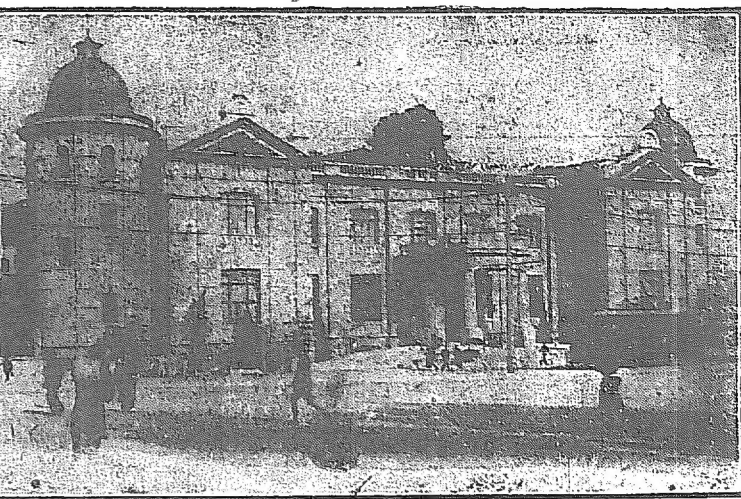
電話八四九番



長局道鐵屋大は字の「祥致」長局木土地持は「嶺東」同、裁總拓東際石「生來一去一」同、軍將花立は「洲崎」同、長院醫府督總賀芳は「山東」同、長院法方地本岩は「明以」同、清子植允金は「警春新」、官長部支度井荒は字の「瑞祥」、長院法等高邊渡は書の竹、長局査訓地土木鈴は字の「新一海四」、官長部工商農原小は兎鳥の句俳、官萬幾亡幾幾離、官長部法司分國は書の「走蛇龍下筆」、正事檢寺松は正賀、長院法審覆村中は名署の藏竹、士博安森は號の城崖、官長部務内美佐字は書の臥閑突、其總銀部銀美は書の梅、長課參軍水白は書の「一惟精惟」、長社卿朝田原は書の「天清氣瑞」、官務事職王李分國は「庭梧」號、官次職王李宮小は絶一の云「八

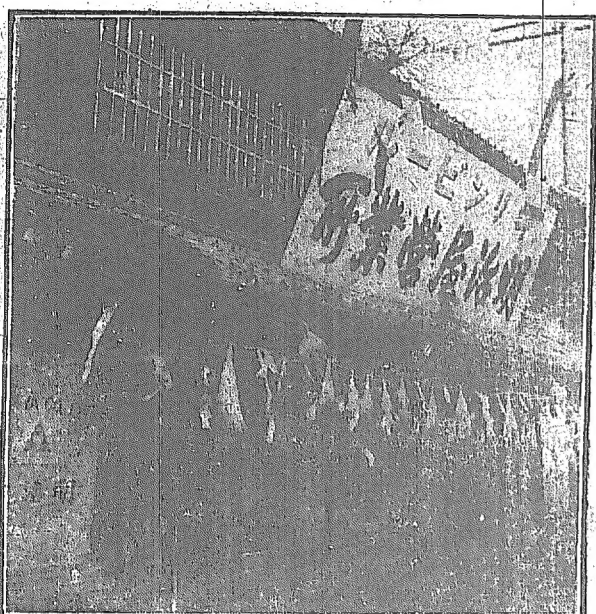
説明

罐



行 經 解 明

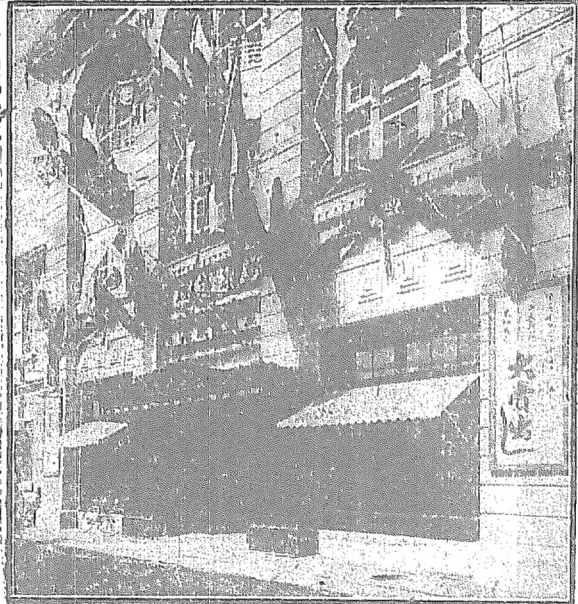
滿洲鐵道株式會社



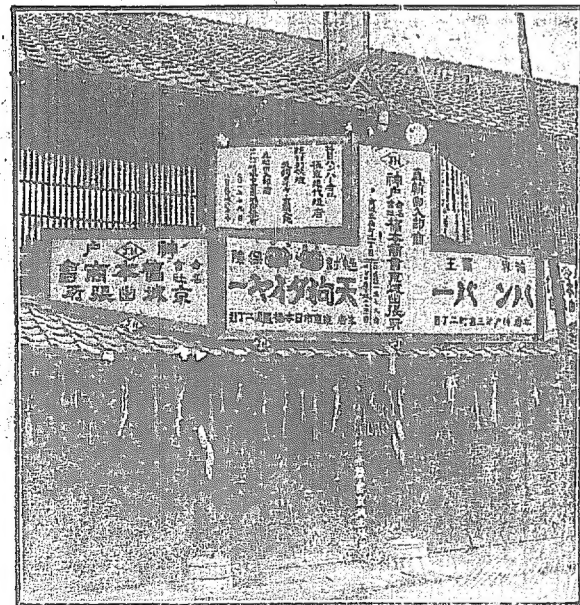
我國の律を知らねは素より、遠く海外迄も其名を聞たれてゐる三越呉服店の創業は遠く延寶一二年の頃で誠に過去二百數十年の歴史を有してゐるが京城に出世所を設けしは明治廿八年の十月で爾來時運の過盛に伴ひ中心點たる本町通りに巍然として雄姿四邊を壓する三層の洋館は京城の名物のであるとして頗る光彩を放ちつゝあるのである何と云つても同店は東洋唯一の模範店に稱す可き品が良く非常に廉い云ふのは同店に於ては我職物界の本場たる京郡と相合して支店を置いてその道に堪能なる店員が居て大仕掛けに品質優良で然かも價格は非常に廉く仕入れ之れも同時に舶來の商品も常に泰西の都市に流轉若しくは毎年一度は彼の地の流行視念に赴くものがあつて其等の著者たる仕入れに於けるは彼等が廉く賣れる營である尙ほ新築落成後の同社内の萬般の設備は若し彼陳列のタメント益々新式となり舶來のデパートメントストアに對しては決して遜色のないと斷言する事が出来る



黄金町通り一丁目に堂々たる洋築を構へてある三井物産株式會社は東京に在りて財界の霸者たる三井八郎次郎氏を社長とせし資本金二十萬圓の大會社で日本内地は勿論海外に至る處に出張所を置き其の儘大なり貿易振興は露島の津々端々に著より海外迄も響き互りて殆んど知らなより者はない現在京城の支店長は鐵腕の營業ある者三氏は細布、機械類、麥粉、砂糖、石炭、米穀、鴨綠江村其他内外物産の貿易並に朝鮮各産たる人參の特約販賣もして其營業の如き盛實なる根柢と之に加ふるに幾多敏活なる社員を網羅し其の外仁川及釜山等に出張所置き其業務の盛大なること右に出づる者はない朝鮮に於ける同會社が特權の事業の外併用鐵山の經營上輕便鐵道の布設と同時に同地方の交通上一般旅客の爲めに營業を開始したること旅旅に於ける金郊及び沙里院京元京に於ける鐵原の植林事業を經營せしは朝鮮開發の上に於て特筆すべきものなり

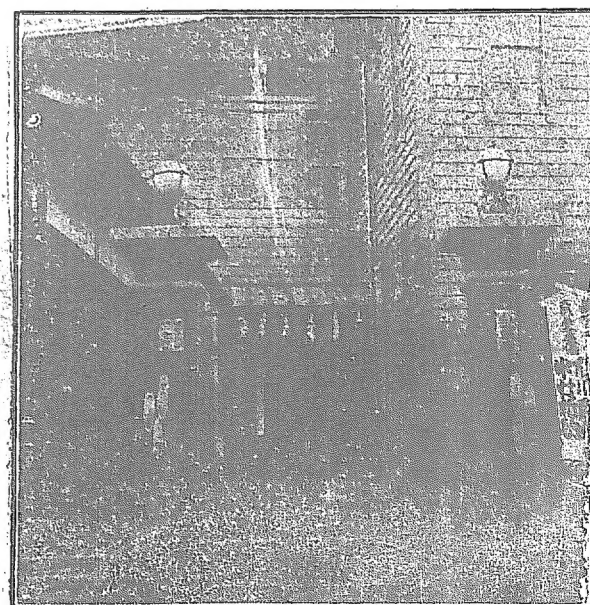
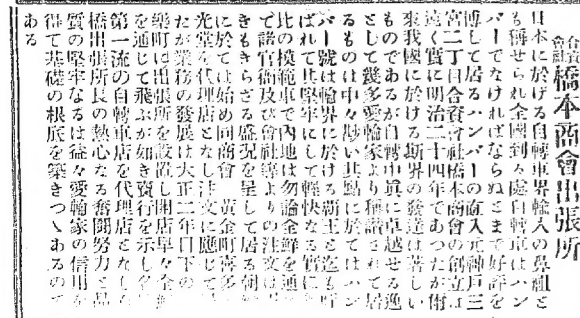


日本文明商會の先驅者たる使命を以て明治十八年創立して横濱市本町に囃つたの聲を擧げた洋清洋食料品株式會社社明治屋は今は東京神戶大阪門司京都京城名古屋大都會に支店京都支店を設け廣く東洋各地に取引店を有し日本に於ける否々東洋に於ける此種日本店の最大なるものにして聲名を世界文明國の間に馳せて居る常に其本店は其所在地に在ては常にして其地商業振の範をなし權威を有し又其繁榮の大裝飾を成して居る其東京支店の如きは實に銀座街頭の花ざなつて居る位であるが京城支店は昨年内田支店長赴任以來終始一貫信用と誠實と精勵との三基礎の上に立ちて奮闘努力昨冬辻屋敷の買収現在の處に移轉と共に益々顧客の衆環を引いて居る尙ほ同店の營業品目はキリンビールを始め和洋食料品各種飲料水に至るまで何れも風味卓絶せりもの又飲食器具及製造用品は製せり巧妙精緻のもの産地製造品の確實著名の品の外は賣らない主義である



不二興業株式會社

正三、四年の五月であつて其前年より農事本合資會社の專ら北陸地方を體分したる處に於ける水利灌漑等の改良に努め全日本餘り得たる水利灌漑等故に平安梨花道川郡南丹波縣西條江口には廣漠たる粟田近き上は福渡下は平沼東に橘野中東方鐵山半島に至る沿岸線は朝鮮連地原に亘る肥沃の地であつた此の新地に開墾を企及するものも有った今同社は百九十九萬圓を授け目下盛に事業中大なる福音を被るの上は我が農業界に於ける商業部是仁村山の兩支店に併せて専ら米穀及び諸物品の委託賣買及び輸入雜貨類等の販賣業務であるが其堅固にして緻密な取扱は一般の定評であるが爲めに同社の重役は森井寛太郎氏衆望に推されて事務総務役に推され他金澤の内村有近、川上小八木、高田淳、内地世界の歸々たるものである



移轉した鈴木商店支店

鈴木商店と云へば本邦實業界の重鎮神戶の鈴木商店であること知らないものはない。同出張所が京城に設立されたのは昨大正五年の二月で始めは南大門口より二丁目にあつたが事業の發展に伴ひ目下の京城自派の場所である本町二丁目に移轉擴張したものである。同商店の朝鮮に於ける重なる營業支店はサクラビ、發賣元、阿里山、松村、砂撈越、麥粉、鹽、其の外營業等であるが就中櫻麥酒最近の賣行の如きは全鮮の斯界を風靡し其の品質の如き原料を精選し毫も他の調味的材料を混へず其純然たる事に努めて居るから以來清快些かの癖も嫌味もなく發賣以來若年にも不扞著々として需要家の賞讃を博し今や全鮮到處有力なる特約店の設置を見據るに至りて甚なる販路の擴張振りは驚嘆すべき程で營業機關の整頓と相俟つて一大發展を實現しつゝあり因みに同支店では麥酒、鹽業部、鑛山部、穀類部、石灰部、木材部等各々分擔の營業に従事しつゝあり

[illegible][illegible]

オヤ、此度は大きいよ、オヤ、大提灯だよ、アラ破損だよ、オヤ、蠟が流れ出したよ、ア、口に流れ込んだよ、鳥渡々お前さん、ワム、五月端ひなア、松、お前さん見たらう、亭、ワム、何も見やアしねわや、松、イーニ確に見たよ、見たに違ひないよ、亭、何見るとのか、何も見やアしねわや、松、何見なに違ひないよ、見た證據があるよ、竹次郎、何見た證據、證據とア何んだ見もしね

まつしね、おらんて見ないの事推して、所りです、で、遠い女の邪推、他所の女にでも逢つて妾を捨て逃げた相説で、もいたしたのではないか、捨られる位なら死んだ方が宜いと思ひましてアア殺せ、と申しましたので、天、ワム左様か、夫婦の情合、尤もな次第である、コレ竹次郎、何故夢を駈け有國に申してしまへ、竹

オエ、眞實な夢は見せんので、天、歌れ、此方が尋ねるに、居、居、とは不都合千萬、宜しく、後、後、

うも叶かんよ　竹「それじやア何うあ
つても貸せねわのですね、宜うござ
います、俺も話しませんから　天「コレ
話さんと八ツ裂にいたすぞ　竹」
からスチンソン嬢が来て却々人氣が

「居るよ」と段々上へ登りました。
「いたのは茶屋の女中で、女『ア、ア、ア』
島渡り、旦那お内藏さん来て下さいよ、お客様が飛びましたよ」といふ聲で呼びましたから主人を初
一同が二階へ来て見ますと此の始
です。主「ア、此りやア
事じやアない、俺が平常信心をして
る神様の金比羅様が什物物を食せ
かと、厭しにお出なすつたのだア、
厭しい思うと知つたら代金を藏りの
に掛けた」

「やうに積んであらア、こりやア船で
見る寶船だ、オヤ、彼方に大勢酒
盛をして居るよ、行つて一杯飲まし
て貰はう……」今日日は「オヤ、
恐ろしい怖い醜態をして居るなア……」
今日日は「コレ、其が何者
だ竹、エ人間で、オ、イヤ此の船は
寶船と云つて人間の來べき所でない、
然し折角参つた者だから一杯飲
め竹、エ何うも有難うございます
（エ）是は何も恐れ入ります
毘沙門、オ、辨天附いてお遣り

[illegible]

新境遇の第一新年



「僕は平民だ」と

石塚東拓總裁

○總督府の農商工部局長官を辭し、金線三本の勅任制眼を脱いで東洋拓殖會社の總裁に就任した石塚英藏氏は、其後東拓經營の新計畫を樹つるに如何にも忙しさうだ。

○廣い會社樓上の一角總裁室に訪ねると、今し先客を遣つたモーニング套の氏は、ドシ／＼歩き廻つて室内運動をやつてゐる。接客の態度が官吏時代より餘餘碌けたと云ふのは、衆評の一致せる所だが、若干東北訛りを交へた其の話しは、僕は一平民だよと云言するだけ餘角張らない。自覺は頭戴にも異にも見ゆる。眼鏡が光らぬ。

其の邊に氏は新境遇にて迎ふる。第一年の所感があらう。『新境遇の第一、新年所感か、大にあるね、大にあるが僕は云ひたくない、何となれば云つても、共略し同感して呉れる人々がないと思ふからだ。僕のような窮乏を經、僕のやうな境遇地位にある者でなくちゃ、僕の新年所感はあるまいではないか、官吏より民間へ、左様かうした會社を預つておれば面白く愉快な事もある、と同時に心に満たない事もないではない、然し不平を云つてゐれば陰眼がないかやうなね』



「城上已吹新歲角」

小原農商工部長官

椅子の座列机の位置にて保ひて居る様子を被服部屋の模倣を少し以前、其の氣は全然一定で、破綻に立つ火の色に何處と無く陽気な様が見れる

小原長官は例に依つて例の如くソフアに身を埋め乍ら大きな机の前に坐附として語る

○「甚々お正月が来るね、君等も忙しいだらうが我輩も却ち多忙さ、何しる君等顔を見る暇がないよ、

○尤も我輩は新米だからね、これで慣れて来たら左様でも無くなるだらうと思ふが……」とある、

其處で沙合を延べてその「用處に入らなふ」くさ者等、ソシガア成曲に投げ込ま

○「新年の感想なら方々から御書ね

に預つたよ、書けといへば書きもする話さといへば語るまでもないが、に書可きことも無ければ語す可きことも無い、城上已吹新陳角窓前、數百年燈といふ古人の句があるが、ア其の邊の所で御免を譲りたいものだね

○ナニ農工商の仕事！夫れはね、君！我輩は最初餘程混み入つた面なものでと思つて居たが實際来てつてゐると左程でも無い様だ、然

これで眞實に仕事をするとなると、父骨の折れる處だよアツハ、

更に筆巻の口を添てスツとツツチを指つて開いて聞かせる様で、ソシガア、長官の氣が吹き出す、見れば其の

にうすりつゝ自分の頭の上を斜に迫て行

講和提議と日本

▲基督が十字架に磔りし時、福音の種馬兵は基督の衣服を分捕して喜びたり。歐洲列國が色々に送戰爭に世界繁しつゝある間に北米合衆國は世界の富を吸収して求むる衣の景氣を生じつゝあり。恰も基督の衣服を分捕して喜ぶにたる羅馬兵に似たりと、是れ歐洲交戰國を觀察して歸りたる水國政治家ベツク氏が紐育に於て演説したる所也。

▲最近紐育より來りたる日本人は皆紐育の景氣の良きを嘆へて曰く紐育には人口二十五人毎に一臺の自動車あり其長の夥多なる其日用品の豊富なる事は敵國獨逸さへ之を驚かすに至る事也。

▲而かも戦局の發展は容易の業にあらず、波蘭方面の戦線は固定して動かざる事已に一年餘也。佛比方面はソムに總攻撃を始めてより已に半議に垂んとし、英佛軍は屢々戰功を收めたれども戰線を進む事僅かに數哩也。飛行機偵察に依れば敵の戰艦背後には獨逸海軍に至る迄約六千の豫備戰艦しか居り、一々之を突破し行くには兵員の損失到底耐ふべからざるものあり。故に北方面より攻めて獨逸に致命傷を與ふるは兩難

取ありて往來の危險甚だし、紐育に於ける公明の料理屋にて半裸體の女が深夜迄踊り狂ふ有様は如何に米國人が物質的に富みつゝ精神的に墮落しつゝ、あるかを示すもの也。

▲戰後歐洲諸國が自己が悪く疲弊し盡くしたるに米國のみ獨り富強に傲るを見る感如何。彼等は始終怯懦の念を以て米國を見、遂には情へたる狼狽の語をなして米國に攻め來らん、吾今日に於ては獨逸は勿論聯合國も米國に對し、昔日の友情を存せずとは米國讀者、語る所也。

▲米國は中立國也。然かも尙戰爭の爲めに金を儲くるを以て自から恥ぢたり。

▲倭る所は巴爾幹方面のみ、獨逸は最近に羅馬尼亞を擄奪して此方面の戰線を固定せしめ、然かも聯合國側の希望は懸りて巴爾幹にあるもの、如し、彼等にして密術、紐育、利を侵略し、土耳其を孤立せしめて獨逸の包圍を完くすれば、敵も遂に敗敗を承認するに至るべし、事茲に到らずして相を講ずるは聯合國が既に承認し、積暴なる獨逸の軍國主義に屈從を結構ものなり。是れ聯合國は勿論、日本も忍ぶ能はざる所なり。日本は聯合國を助けて其開戰の目的を貫徹せしめんことを欲する所以茲に存す。

日所手非賣

なすもの如し、日本は中立國にあらず、聯合軍側に立てる交戦國也。而して同盟諸國が生死を賭して惡戰苦闘しつゝある間に金儲の爲めに職爭永續を望む者あらば其心事高潔なりと云ふべけんや。
 ▲獨逸は講和交渉を開かん事を提議したり、而して日本の輿論は之を拒絶するに一致し居れり、其動機如何吾人は決して戰事を金儲けの機會を與ふる爲めにあらざる事を明白にせざるべからず。
 ▲蓋し獨逸が今日講和提議なしたる所以は歐洲戰局は殆んど固定したるを以て今日よりば實戰を中止して外交戰に移らんを希望したるを以てなり、聯合國の之を拒絶せんとするは戰局の發展に望を絶たざるのみならず、之を以て國家生存の上に於て必要とすればなり。
 ▲今日此戰事を中止せんか、戰事怯弱も引き分けにして獨逸は其威威を以て戰後の歐洲を壓迫すべし、即ち普魯西の軍國主義が世界を支配して歐洲文明の基礎たる國際道徳は地を拂つて消滅すべし、是れ歐洲文明の擁護者を以て自から任する英佛政府の忍ぶ能はずとなす所なり。聯合國が講和交渉を開く事を肯んせしめて戰事を繼續したりとして戰局發展の望ありや否や。
 ▲今は故人となりし英國陸相キチナ―將軍は戰争は少くとも三箇年繼續すべし、初二年間準備して一年に

觀望生 待 抑

謹賀新年

<p>大田 第三</p>	<p>森 愛四郎 <small>東京縣新安州</small></p>	<p>高岡 龍盛堂 <small>東京縣新安州</small></p>	<p>赤松印刷所 <small>東京縣新安州</small></p>	<p>花咲友一 <small>東京縣新安州</small></p>	<p>鈴木唯一郎 <small>東京縣新安州</small></p>	<p>森久支店 <small>安州郡安城町</small></p>	<p>藤村恒三 <small>安州郡安城町</small></p>	<p>石崎材木店 <small>安東縣市場通</small></p>	<p>前田喫茶店 <small>安東縣停車場</small></p>	<p>森田藥店 <small>平壤大和町</small></p>	<p>佐原辰雄 <small>黑龍江省京旗縣龍興</small></p>	<p>關口半 <small>平壤地方法院檢査正</small></p>	<p>脇坂文鮮堂 <small>平壤市可書館</small></p>	<p>外山石英 <small>平壤</small></p>	<p>河原健之助 <small>平壤地方法院長</small></p>	<p>西鮮造林會社 <small>平安南道</small></p>	<p>大同郡廳員一同</p>	<p>謹賀新年</p>
--------------	--	---	--	---------------------------------------	--	---------------------------------------	---------------------------------------	--	--	--------------------------------------	--	---	--	-----------------------------------	---	---------------------------------------	----------------	-------------

謹賀新年

時計及附屬品
貴婦人用裝身具
寫真器及材料
各種蓄音及器音譜
樂器オルガン各種

織居商店

京坂本町四丁目

電話二六二、三三九
振替口座京坂二三一

資本金 六十萬圓
東京國債株式會社
外に資本金五十萬圓 東京國債銀行(姉妹關係)
顧問 前社長 正三位勳一等男 岡田 安賢
社長 正三位勳二等男 阿部 浩賢
常務取締役 正五位勳三等功四級 志水 美英
同上 辻川 敏三
朝 鮮 支 部 京城 明治町一丁目四六番 電話員一五五四番
支 部 長 從七位勳七等 振替口座 京城三五七番
石岡啓治郎

賀正
御出中は多大の御引立を蒙り外
の盛況裡に終局を告げ申候様全
く各位の賜と深く感謝仕り一同厚
く謹んで御禮申上候

追而當分壽町に假出張所を設置致候
間御用の御方は同所へ御光來の程幸
願止儀

敬白

嘉末永興服店

電話六八二番

謹賀
 新年
 有價證券
 買賣
 京城太平通
 二〇三六
 株式會社
 朝鮮
 債券
 銀行
 電話二八三一
 振替 京城五番



京城南山町三丁目
京城ホテル

謹賀新年

營業科目
一、和洋書紙販賣
二、活版石版印刷
三、各種帳簿製造
四、印刷用インキ販賣

京城永樂町二丁目

播本商店

電話 百十番
振替 京城 二〇〇番

謹賀新年

鑛 蛇目鑛業所

同 分拆所

業 所主蛇目萬次郎

本部 京城南米倉町
電話 長九三〇番
三八〇八番

支部 元山旭町十六番地
電話 三二八番

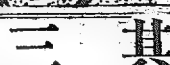
謹賀新年

山城旭町一丁目

山本鑑之進

京城出張所

電話一九三六番



一、財政

の財政は大正三年度に

の減少を見たるのみな

大正四年度豫算に力
 施し前年度の實蹟に鑑

共に他方蔵出に於て能

經濟界亦其の委徹よ

前年度に比し一般經濟

大正三年財政獨立計畫

朝鮮酒以外の酒類に對
に法人所得の課税を起

自然増収を豫定し歳出

政獨立計畫の方針に法

● **経済界の好調**

は未曾有の活躍を呈し
多額の輸出超過を成り

二の上騰等は著しく人氣

却て各方面に涉り甚だ

勸を促進したるが殊に

現に鐵道各驛及び開港

なり而して又地方農

土小作料其の他租税に

1

濟の趨歩 (一)
 鐵道並に各種事業の發展は、朝鮮經濟界向上の重要な原因に組織するに至れり
 收入増加の其原因
 三 其

1998, 1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026, 2027, 2028, 2029, 2030, 2031, 2032, 2033, 2034, 2035, 2036, 2037, 2038, 2039, 2040, 2041, 2042, 2043, 2044, 2045, 2046, 2047, 2048, 2049, 2050, 2051, 2052, 2053, 2054, 2055, 2056, 2057, 2058, 2059, 2060, 2061, 2062, 2063, 2064, 2065, 2066, 2067, 2068, 2069, 2070, 2071, 2072, 2073, 2074, 2075, 2076, 2077, 2078, 2079, 2080, 2081, 2082, 2083, 2084, 2085, 2086, 2087, 2088, 2089, 2090, 2091, 2092, 2093, 2094, 2095, 2096, 2097, 2098, 2099, 2100, 2101, 2102, 2103, 2104, 2105, 2106, 2107, 2108, 2109, 2110, 2111, 2112, 2113, 2114, 2115, 2116, 2117, 2118, 2119, 2120, 2121, 2122, 2123, 2124, 2125, 2126, 2127, 2128, 2129, 2130, 2131, 2132, 2133, 2134, 2135, 2136, 2137, 2138, 2139, 2140, 2141, 2142, 2143, 2144, 2145, 2146, 2147, 2148, 2149, 2150, 2151, 2152, 2153, 2154, 2155, 2156, 2157, 2158, 2159, 2160, 2161, 2162, 2163, 2164, 2165, 2166, 2167, 2168, 2169, 2170, 2171, 2172, 2173, 2174, 2175, 2176, 2177, 2178, 2179, 2180, 2181, 2182, 2183, 2184, 2185, 2186, 2187, 2188, 2189, 2190, 2191, 2192, 2193, 2194, 2195, 2196, 2197, 2198, 2199, 2200, 2201, 2202, 2203, 2204, 2205, 2206, 2207, 2208, 2209, 2210, 2211, 2212, 2213, 2214, 2215, 2216, 2217, 2218, 2219, 2220, 2221, 2222, 2223, 2224, 2225, 2226, 2227, 2228, 2229, 2230, 2231, 2232, 2233, 2234, 2235, 2236, 2237, 2238, 2239, 2240, 2241, 2242, 2243, 2244, 2245, 2246, 2247, 2248, 2249, 2250, 2251, 2252, 2253, 2254, 2255, 2256, 2257, 2258, 2259, 2260, 2261, 2262, 2263, 2264, 2265, 2266, 2267, 2268, 2269, 2270, 2271, 2272, 2273, 2274, 2275, 2276, 2277, 2278, 2279, 2280, 2281, 2282, 2283, 2284, 2285, 2286, 2287, 2288, 2289, 2290, 2291, 2292, 2293, 2294, 2295, 2296, 2297, 2298, 2299, 2300, 2301, 2302, 2303, 2304, 2305, 2306, 2307, 2308, 2309, 2310, 2311, 2312, 2313, 2314, 2315, 2316, 2317, 2318, 2319, 2320, 2321, 2322, 2323, 2324, 2325, 2326, 2327, 2328, 2329, 2330, 2331, 2332, 2333, 2334, 2335, 2336, 2337, 2338, 2339, 2340, 2341, 2342, 2343, 2344, 2345, 2346, 2347, 2348, 2349, 2350, 2351, 2352, 2353, 2354, 2355, 2356, 2357, 2358, 2359, 2360, 2361, 2362, 2363, 2364, 2365, 2366, 2367, 2368, 2369, 2370, 2371, 2372, 2373, 2374, 2375, 2376, 2377, 2378, 2379, 2380, 2381, 2382, 2383, 2384, 2385, 2386, 2387, 2388, 2389, 2390, 2391, 2392, 2393, 2394, 2395, 2396, 2397, 2398, 2399, 2400, 2401, 2402, 2403, 2404, 2405, 2406, 2407, 2408, 2409, 2410, 2411, 2412, 2413, 2414, 2415, 2416, 2417, 2418, 2419, 2420, 2421, 2422, 2423, 2424, 2425, 2426, 2427, 2428, 2429, 2430, 2431, 2432, 2433, 2434, 2435, 2436, 2437, 2438, 2439, 2440, 2441, 2442, 2443, 2444, 2445, 2446, 2447, 2448, 2449, 2450, 2451, 2452, 2453, 2454, 2455, 2456, 2457, 2458, 2459, 2460, 2461, 2462, 2463, 2464, 2465, 2466, 2467, 2468, 2469, 2470, 2471, 2472, 2473, 2474, 2475, 2476, 2477, 2478, 2479, 2480, 2481, 2482, 2483, 2484, 2485, 2486, 2487, 2488, 2489, 2490, 2491, 2492, 2493, 2494, 2495, 2496, 2497, 2498, 2499, 2500, 2501, 2502, 2503, 2504, 2505, 2506, 2507, 2508, 2509, 2510, 2511, 2512, 2513, 2514, 2515, 2516, 2517, 2518, 2519, 2520, 2521, 2522, 2523, 2524, 2525, 2526, 2527, 2528, 2529, 2530, 2531, 2532, 2533, 2534, 2535, 2536, 2537, 2538, 2539, 2540, 2541, 2542, 2543, 2544, 2545, 2546, 2547, 2548, 2549, 2550, 2551, 2552, 2553, 2554, 2555, 2556, 2557, 2558, 2559, 2560, 2561, 2562, 2563, 2564, 2565, 2566, 2567, 2568, 2569, 2570, 2571, 2572, 2573, 2574, 2575, 2576, 2577, 2578, 2579, 2580, 2581, 2582, 2583, 2584, 2585, 2586, 2587, 2588, 2589, 2590, 2591, 2592, 2593, 2594, 2595, 2596, 2597, 2598, 2599, 2600, 2601, 2602, 2603, 2604, 2605, 2606, 2607, 2608, 2609, 2610, 2611, 2612, 2613, 2614, 2615, 2616, 2617, 2618, 2619, 2620, 2621, 2622, 2623, 2624, 2625, 2626, 2627, 2628, 2629, 2630, 2631, 2632, 2633, 2634, 2635, 2636, 2637, 2638, 2639, 2640, 2641, 2642, 2643, 2644, 2645, 2646, 2647, 2648, 2649, 2650, 2651, 2652, 2653, 2654, 2655, 2656, 2657, 2658, 2659, 2660, 2661, 2662, 2663, 2664, 2665, 2666, 2667, 2668, 2669, 2670, 2671, 2672, 2673, 2674, 2675, 2676, 2677, 2678, 2679, 26

恩者言

爭名無

下二

光瑞

萬三千百九十一圓輸移入百二十一

五千三百三十四圓にして大正
比し輸移出四百十一萬一千九

五百十七萬百六十圓を増加せ
て以上貨物及び地金銀を合せ

四百十四圓輸入七千三百八十一圓

空前の巨額にして之を大正四年

千八百六十圓合計二千三百二

貿易額二年比較表

[illegible][illegible]

の如く同年の貿易額は出入入差の増進を示せりと雖も就中増加は輸出の増加に比しなるものありしを以て出入入の差は超額に比較する三年以往の入超額に比較する著しく軽減を示せるのみならず輸出の不足に伴ふ米豆の滞貨に顧るときは叙上出入は毫も悲観するに當らず貿易傾向愈益堅實なるを知るに足べし

▲輸移出貿易

五年の輸移出貿易の増進は兩

[illegible]

謹賀新年
東京福新支州
御旅館
松月館

謹賀新年
松隈運送店
主仕 加築茗一郎
川州郡軍馬里

謹賀新年
松岡商店
河野出張所
京義福安州城内

謹賀新年

大正六年一月元旦

東京電氣株式會社マツタ電球一手販賣
安州炭礦代理店
矢部工業事務所代理店
久原鑛業株式會社日立製作所特約店
金門商會代理店

白上商店
營業主 白上貞

朝鮮京城旭町二丁目一〇三番地
(電話長九五五番)

三友鑛業事務所
同分析所

貨物疏通の方策如何

年頭讀者の考慮を要す

▲阪神直通航路の必要 朝鮮郵船社長 原田金之祐氏談

▲直通航路の必要 朝鮮郵船社長 原田金之祐氏談

▲二線の阪神航路の必要 朝鮮郵船社長 原田金之祐氏談



蛇の俳句 西村耕伯

春の灯の影 蛇の影 蛇の影

春の灯の影 蛇の影 蛇の影

春の灯の影 蛇の影 蛇の影

新年歌壇

春の灯の影 蛇の影 蛇の影

春の灯の影 蛇の影 蛇の影

春の灯の影 蛇の影 蛇の影

謹賀新年 忠北自働車組合 同 永同支店 同 美江停留所 同 忠州停留所 同 西山重太郎	謹賀新年 倉原恒雄	謹賀新年 水野吳服店 忠州本町	謹賀新年 大迫醫院 忠州本町	謹賀新年 林金太郎 忠州本町	謹賀新年 山口黒鉛鐵業所 忠州本町	謹賀新年 御料理おた福 忠州本町	謹賀新年 完天合資會社 忠州本町	謹賀新年 新義州宮川支店 忠州本町	謹賀新年 福島商店 忠州本町	謹賀新年 鹽田農場 忠州本町	謹賀新年 鹽田商店 忠州本町						
謹賀新年 赤木萬次郎 平中學校校長	謹賀新年 稻葉組 佐藤安太郎	謹賀新年 石隈信乃雄 電力部支配人	謹賀新年 市川兵吾 大邱鐵道局	謹賀新年 村上四郎 大邱鐵道局	謹賀新年 大本宇市 大邱鐵道局	謹賀新年 上田末太郎 大邱鐵道局	謹賀新年 西川太郎一 大邱鐵道局	謹賀新年 元木淺夫 大邱鐵道局	謹賀新年 岡田嘉平 大邱鐵道局	謹賀新年 神宮興太郎 大邱鐵道局	謹賀新年 本村好松 大邱鐵道局	謹賀新年 池上重政 大邱鐵道局	謹賀新年 岩本牧畜場 大邱鐵道局	謹賀新年 松井喜十郎 大邱鐵道局	謹賀新年 桂山淺之丞商店 大邱鐵道局	謹賀新年 木浦組運送店 大邱鐵道局	謹賀新年 松前吳服店 大邱鐵道局

京城永樂町 清華亭 電話 八二一三五番	謹賀新年 新田演藝部 日本活動寫真株式會社朝鮮總代理店 京城永樂町一丁目百三十六番地(長電話五七〇番) 營業主 新田演藝部 新田演藝部 東吉 桐谷 高橋 鈴木 野村 住 德 立 好 木 村 浦 新 太 又 虎 新 得 助 郎 郎 郎 郎	京城本町二丁目 千代本 電話 長 二二三番 電話 三三〇七番	京城本町二丁目 花月 電話 三三〇七番
---------------------------	---	---	---------------------------

河東碧梧桐

作られたりなむと皮肉を云ふ。米國に下關がある。内地では青森と鹿児島と大船が、一舟あたりとは全く違ふた點が、一舟内、山崎道等あたり十地に相違のない處しか役に立たぬ。歳時記では俳句は作られぬ。

俳句は決してさう云ふものではなからぬ。藝術を認める以上、少くともさう云ふ不自然な約束に拘束する如きは甚だつまらぬ事である。日本ではきき方でも、米國では何處でも制約のないものでなつて居る。だから今から幾年かの後に、現狀に適合する新歲時記を編む人が必ず出ねばならぬ筈だ。「馬琴は物語りであつたが情味は少なかつた夫れで其歳時記もさう云ふ弊が出て居る」

蛙は春の季になつて居るが、夏でもよく啼く。燕は夏も秋も飛んで居る。よに、春の季にしてある。と云ふ疑問は當り前の疑問だが尤も「シェン」云ふ事がある。魚でも雄「ン」でも一年中で一番香味の多い時があるが其時には其特性の最も多く現れた時だ、それで私は其香味と實味と云ふ事を云つた事があるが、凡ての物に現實味はあるが、眞實味がまた其中に在る。だから歳時記は其時に於ける其眞實味から生れたもので、其點は特に注意すべき事であることを附記する。要するに俳句め

その二

廿一月

十二凡未

めせき口運

京大南

九月夜來

大

10

七

句



未了

月十日



卷之四

雄逝

市見之

金部

10

1

This illustration depicts a vibrant Japanese festival float (danjiri) with various figures and decorative elements. The float is adorned with a large banner featuring a tiger and a bear, and a fish. The figures include a man in a topknot, a tiger, a bear, and a fish. The float is surrounded by text and decorative elements, including a large banner with the text "九月九日大山公誕生" (September 9th, Great Mountain Prince's Birthday) and "十七日国華祭" (September 17th, National Flower Festival). Other text includes "九月十日 卯辰宮殿下" (September 10th, Mochinoji Palace), "九月廿六日" (September 26th), "九月廿七日" (September 27th), "九月廿八日" (September 28th), "九月廿九日" (September 29th), "九月三十日" (September 30th), "十月一日" (October 1st), "十月二日" (October 2nd), "十月三日" (October 3rd), "十月四日" (October 4th), "十月五日" (October 5th), "十月六日" (October 6th), "十月七日" (October 7th), "十月八日" (October 8th), "十月九日" (October 9th), "十月十日" (October 10th), "十月十一日" (October 11th), "十月十二日" (October 12th), "十月十三日" (October 13th), "十月十四日" (October 14th), "十月十五日" (October 15th), "十月十六日" (October 16th), "十月十七日" (October 17th), "十月十八日" (October 18th), "十月十九日" (October 19th), "十月二十日" (October 20th), "十月二十一日" (October 21st), "十月二十二日" (October 22nd), "十月二十三日" (October 23rd), "十月二十四日" (October 24th), "十月二十五日" (October 25th), "十月二十六日" (October 26th), "十月二十七日" (October 27th), "十月二十八日" (October 28th), "十月二十九日" (October 29th), "十月三十日" (October 30th), "十一月一日" (November 1st), "十一月二日" (November 2nd), "十一月三日" (November 3rd), "十一月四日" (November 4th), "十一月五日" (November 5th), "十一月六日" (November 6th), "十一月七日" (November 7th), "十一月八日" (November 8th), "十一月九日" (November 9th), "十一月十日" (November 10th), "十一月十一日" (November 11th), "十一月十二日" (November 12th), "十一月十三日" (November 13th), "十一月十四日" (November 14th), "十一月十五日" (November 15th), "十一月十六日" (November 16th), "十一月十七日" (November 17th), "十一月十八日" (November 18th), "十一月十九日" (November 19th), "十一月二十日" (November 20th), "十一月二十一日" (November 21st), "十一月二十二日" (November 22nd), "十一月二十三日" (November 23rd), "十一月二十四日" (November 24th), "十一月二十五日" (November 25th), "十一月二十六日" (November 26th), "十一月二十七日" (November 27th), "十一月二十八日" (November 28th), "十一月二十九日" (November 29th), "十一月三十日" (November 30th), "十二月一日" (December 1st), "十二月二日" (December 2nd), "十二月三日" (December 3rd), "十二月四日" (December 4th), "十二月五日" (December 5th), "十二月六日" (December 6th), "十二月七日" (December 7th), "十二月八日" (December 8th), "十二月九日" (December 9th), "十二月十日" (December 10th), "十二月十一日" (December 11th), "十二月十二日" (December 12th), "十二月十三日" (December 13th), "十二月十四日" (December 14th), "十二月十五日" (December 15th), "十二月十六日" (December 16th), "十二月十七日" (December 17th), "十二月十八日" (December 18th), "十二月十九日" (December 19th), "十二月二十日" (December 20th), "十二月二十一日" (December 21st), "十二月二十二日" (December 22nd), "十二月二十三日" (December 23rd), "十二月二十四日" (December 24th), "十二月二十五日" (December 25th), "十二月二十六日" (December 26th), "十二月二十七日" (December 27th), "十二月二十八日" (December 28th), "十二月二十九日" (December 29th), "十二月三十日" (December 30th).

常々大問題である。
 川柳
 一等 龍山漢江通 舟井 秀市
 〇被槐の由來をきりば 寶なり
 二等 成南成西城町 東條 正一
 〇初夢の寶の山が氣にかへり 京城岩町九七 八膳からく
 同 〇成金は船を寶で申しける 京新羅橋 松野 翠雨
 三等 〇天孫は盛寶の中の初筆なり 京城光町九〇 窪田 未晚
 同 〇三寶の中に宝出で夫婦なり 北龍橋 信子
 〇コナンブネ大きな寶見付出し 秀逸 京城 山翠生
 〇寶船下女は火鉢で居る 元山 野寺峰
 〇子孫を捨てあましてる扇持の 〇お寶を許つて枕の下に入れ 京城 西田生
 〇成金と寶ばかり意にならず 京城 奇 障
 〇寶之子が寶りに来る京光 〇得來の寶へ渡つて入法 龍岩洞 大石 何乎
 〇寶物水筒を借くといはれ事となり 〇桃太郎寶をなればはて仕知り

正賀 京釜線大田本町七丁目
正賀 仁川山手町(電七六八番)
正賀 仁川漢河(電二〇九番)
正賀 釜澤益太郎
正賀 西川麻五郎
正賀 大塚中出張店
正賀 陸軍御用寫眞師
正賀 大橋照紀
正賀 佐々木德平
謹賀新年 藤井康基
謹賀新年 鶴壽溫泉
謹賀新年 全忠病院
謹賀新年 平壤郵便局長
正賀 八木辰馬
正賀 福田時計店
謹賀新年 花岡鶴松
謹賀新年 平野嘉七郎
謹賀新年 香原酒造場
謹賀新年 戶塚病院
謹賀新年 平壤券番組合
謹賀新年 楠田義達
謹賀新年 全忠病院
謹賀新年 岩田留楠
謹賀新年 平壤
謹賀新年 金物商
謹賀新年 金貨發賣元
正賀 仁川
正賀 仁川山手町(電七六八番)
正賀 仁川漢河(電二〇九番)
正賀 釜澤益太郎
正賀 西川麻五郎
正賀 大塚中出張店
正賀 陸軍御用寫眞師
正賀 大橋照紀
正賀 佐々木德平
謹賀新年 藤井康基
謹賀新年 鶴壽溫泉
謹賀新年 全忠病院
謹賀新年 平壤郵便局長
正賀 八木辰馬
正賀 福田時計店
謹賀新年 花岡鶴松
謹賀新年 平野嘉七郎
謹賀新年 香原酒造場
謹賀新年 戶塚病院
謹賀新年 平壤券番組合
謹賀新年 楠田義達
謹賀新年 全忠病院
謹賀新年 岩田留楠
謹賀新年 平壤
謹賀新年 金物商
謹賀新年 金貨發賣元

[illegible]





越田電氣商會

電話一四三〇番

◎電燈・電話・避雷針・電鈴工事設計
請負及修繕

◎電氣諸器械◎電氣諸材料販賣

朝鮮京城本町二丁目四十八番地

謹賀新年

安田野病院
同 西町二丁目
電話一六五番

和田野病院
同 西町二丁目
電話九二六番

加藤醫院
同 西町一丁目
電話六八四番

河野小兒科
同 寺町二丁目
電話六八四番

田中眼科病院
同 富平町
電話六〇一番

宇都宮病院
同 大町一丁目
電話七五三番

久保病院
同 大町一丁目
電話二六七番

安村病院
同 富平町二丁目
電話五二三番

粟飯原病院
同 南沼町二丁目
電話七六七番

淺海醫院
同 大田町小學校前
電話七六二番

水上病院
同 西町三丁目
電話三二三番

朱雀醫院
同 四町四丁目
電話八二五番

附三月迄の運轉

合
(不
和
順)

電話六五四番
日座京城六二〇番

安城支店
 口座京城四三九番
 話長一〇三九番

家三川
話長四〇一
口座京城五七〇番

電話 七六四番
山中支店

邑山支店
 館長八四九番二四五四
 管口座 京城 七五番

田酒店
電話一三三七番
營口座京城四二五番


巴商會
會長三八〇番
管口座京城三八〇番

合正宗萬一
話一五一五番

力支店

自藤八支店

替口座三七一番



主新賀謹

島田系物部
島田メリヤス部
電話五二七八番
東京市三丁目

近藤商店
電話七六八番
東京市三丁目

定藏商店
電話四一七三番
東京市三丁目

慶尚北道廳
林吉岸申鈴
村松秀木
藏郎郎次麟隆

香油味贈還元壯謹之助
大田本町二丁目十四番地
電話長五八番
東京市三丁目

馬山病院
電話二六番
東京市三丁目

宮本政藏
石丸優三

長岡商店
電話八三一番
東京市三丁目

片倉組農場
片倉組林業部
片倉組支店

齋藤禮三
佐々木志賀二

慶北達城郡廳
李荒川
氏森三
松波文貴
友一清郎漢

慶北清道郡廳員

慶南印刷株式會社
社長 李重正
副社長 李重正

松村博愛堂
電話六六九番
東京市三丁目

山西義一商店
電話三七〇番
東京市三丁目

木下次郎
電話六三七番
東京市三丁目

村上商店
電話四五番
東京市三丁目

寺田安太郎商會
電話五〇六番
東京市三丁目

福榮商店
電話一三三九番
東京市三丁目

向陽商店
電話三五五番
東京市三丁目

肝油ドロップス

河合龜太郎氏創製

肝油は、人間の健康に不可欠な栄養素であり、その不足は様々な病気を引き起こす。肝油ドロップスは、純粋な肝油を基に、ビタミンA、D、Eを配合し、小児に最適な形で提供された。味は甘く、飲みやすい。毎日の健康維持に欠かせない。

用法：小児は毎日1粒、大人は2粒を水で飲む。食後または寝前が理想的。

肝油ドロップス

府政國米英及邦本
計特賣專
料壯強養滋
スアツロ油肝



肝油は、人間の健康に不可欠な栄養素であり、その不足は様々な病気を引き起こす。肝油ドロップスは、純粋な肝油を基に、ビタミンA、D、Eを配合し、小児に最適な形で提供された。味は甘く、飲みやすい。毎日の健康維持に欠かせない。

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS

(Patented in Japan, Great Britain and U.S.A.)

120 Drops in a bottle ¥ 1.50
100 Drops in a bottle ¥ 1.20

Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops are round-candy drops of small size, fragrant and pleasant to the taste. Each contains a guaranteed amount of one gram of Cod-Liver Oil. In its nourishing quality, taken without taxing the stomach, taken in so small a size, the Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops far surpass any other cod-liver oil preparations on the market.

Mitsuwa Compound Cod-Liver Oil Drops differ in that they contain one-half amount of Cod-Liver Oil and are supplemented with the effective element of iron, phosphorus, lime and quina.

本舗 丸見屋商店

東京市日本橋區橋本四丁目
電話 〇四八四、〇四八五、〇四八六

丸見屋商店は、肝油ドロップスの本舗であり、品質の保証とアフターサービスを提供しています。全国の代理店を通じて、お客様に最適な価格で提供させていただきます。

愛す可し、憎む勿れ

お正月の蛇は、芽出度いものである。早い話が、商神、マルキユリー¹の杖にも蛇がかたざられ希服²では御祭の使神とあがめられてゐる。併し蛇といふものは何とも世間³に厭はれるやうである。中には蛇のやうな厭なものが何故此の地球上にあるのかなど頗る同情の無いお言葉もあるが仔細に見れば蛇と蟲とあながち捨てたものではない。早い話が蛇の一種はよく野鼠を描いて眞の代りにしす。その野鼠は常に作物を害し且つ人間に害與へます。それに家鼠先生はまた然りこれにより是を見れば蛇の手柄も皆目認めてやらぬ話には行きますまい。唯だ蛇の不愛嬌なのは其の眼に儼臉がなないためにマタタキすることがない。従つて彼の眼付きには些も愛嬌といふものが無い。これが最も人に厭がられる點であらう。儼りに彼の醜いひきが、るるにできゝる。眼珠をむき出してバチチとさせてゐるのに去りとは蛇は氣の毒な生れ出て、自分と雖も母が辨別天機を守護本尊にしてゐるで呉れた譯でもないが唯だ數年前朝鮮に來てゐるうゝ々々動物の研究に取りかゝつた時先づ最も人の厭はれる蛇を研究してやらうと思ひ立つたのであつた。それで京城中學に居る時は四五尺のうせんねすみとりを雌雄二匹伺つて見たこともあつた。蛇の刺身も友達と共にチヨイとやつて見たがこれらもなか／＼白くて美味い。何んでも内地の長野、たりの山奥では蛇を煮て食ふとかいふことが自分はそれをおかめたことがないから斷言はいたさぬ。まあ前濱はこの位にしてシロ／＼蛇の諺辭に移りませうかな。

極めて柔順な愛らしい動物

自分ば長らてうせんねすみさりと
いふ四五尺の蛇を飼つたことがある、
これは内地に居る青大將のやうな蛇
であるが

▽自分が生捕つたのは明治四十
四年の花見頃に標の名所五
里の山で捕へたのである、それから
何んでも大正元年八月頃まで愛育
したやうに寵愛してゐる、一體蛇と
いふ奴は人に厭がれない動物である
姿に些とも愛嬌のない奴なので人間
から厭のやうに思はれるが併し自分
自ら飼つて見ると左のみ厭らしい
ものでもない、時に食事の世話もしな
ければならぬまた愛使の始末もして
やらねばならぬ、朝に喉に親しくし
て見るごまながら世間の人が厭ふ程
いやなものでもない、彼の姿もヌル
くしてはゐるけれども考へ方によ
つてはその御愛するものと

▽愛嬌である婉曲で殊に嬌は頗る精巧なもので美し
深き色彩を有してゐるとも云へ
自分はこれで蛇使ひの類ひでは
土居宣暢氏の自畫像



が蛇に親しむ間に多少其の取柄
を悟つて來た、蛇を取扱ふにも
應の心得が無くてはならぬ、初
分の飼つたのは無毒蛇であつたが
噛み殺される愛ひよなかつたが
くら無毒蛇の蛇といふも口には
の細齒があるから咬まれて負傷
ことはいふまでもない、先づ蛇

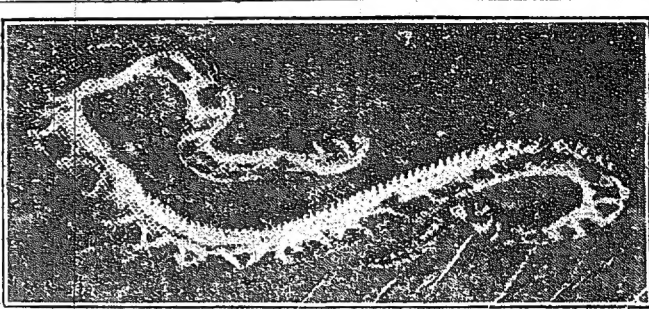


屢々觀察

る。蛇は高い所から落ちるとか樹に
巻きつくといふことを殊更にしない
でも蛇自身に卵を呑み込んだ後に頸
の處でしめるだけの力を有つてゐる
ものである。蛇は先づ鰐卵を餌かに
丸呑みにして漸く鰐の邊まで呑み下
げると頸を上げ頸を伸して食道より
ゑる。そして鰐の背骨に鰐卵を押しつ
けてゐるやうに見ゆる。すると鰐卵
はブツと割れるや否や胴の方に流
れ入るのである。これは外部から見
てゐてもよく解るのである。次に蛇
の鱗は一度に來るとそのまゝ發育し
ないから體が大きくなると共に取更
へるのである。これは脱皮といふ事
で自分の飼つてゐた蛇は一箇月乃至三
箇月目に一回脱皮した。蛇は脱皮前
になると鱗に元氣がなくなり食物も
とらずに靜かにしてゐるそして次第
に鱗が浮いてくる爲め眼は白くなり
體は

て數日にして舊衣を脱したると再び
麗な色澤を帯び且つ元氣が頗る加
はつてお獨けに食慾も進んで來る
此の際には食物を澤山與へねばならぬ
蛇は餌さへ充分にやれば實に溫暖な
ものである。また無理なことをして
怒らせしめなければ決して吸みつ
くものではない。然るに腹が空いたた
りなふつたりすると急に氣が粗くな
りむやみに物に咬みつき度くなるも
との見ゆる。また蛇は謂ゆる冷血動物
物であるから常に暖かい所を好むも
のである。それで時に

◆懷や洋袴のかくしに入れ
てやると皖んで退却しして居るも
のである。それに冬になると氣候の
關係上生活機能が殆んど休止の状
態になり謂ゆる冬眠をするものであ
るから其の前に充分食餌を與へねば
ならぬ。左もなければ冬眠の間に永
眠してふこがある。序ながら冬
眠の終末にもなるべく日當りよき暖か
い處に置けてやることがよい。



謹賀新年

辯護士 大久保雅彥 電話八三九番
 京城池田二丁目
 辯護士 中村 時章 電話六三一番
 京城黃金町二丁目
 辯護士 松本 正寛 電話一〇五四番
 京城本町三千丁目
 辯護士 安住 時太郎 電話一四八二番
 京城仁寺洞
 辯護士 朝倉 外茂鐵 電話一六二八番
 京城西小門町
 辯護士 木尾 虎之助 電話三八五番
 京城三角町

謹賀新年

小林鑛業本部
 (常設府明荷一丁目)
 電話長六五五番
 小林兼右衛門
 小林圭男
 森本英樹
 山邊清司
 小林良藏
 山邊治郎
 山邊清司
小林樂山鑛業部
 黃海邊是國郡樂山方面
 櫻井秀尊
 本郷忠季
 川上常一
 大浦孫七郎
 高杉元七
 北川秀雄
 大原正藏
 寄川平助
 山邊和五郎
 鐵力謙藏
 鐵木治良
 鐵田三千秋
 矢野主計
 井上傳吉
 重正治郎
 窪空之助
 小林增設
 國廣國三
 岡田代三
 森田三九
 秋野親治
 杉本元吉
 富永光光
 石黑雄造
 金根塔
 津田源市
 井田幸太
 矢野幸一
 古城徳五郎
 中村廣太郎
小林寶城鑛業部
 (全權津南寶城郡)
 阿部健治
 大井丹次郎

謹賀新年

龍山醫學會

(順はろい)

杉望宮佐佐朝松中原齋幾
 本月崎藤々山村村野
 憲省太方英三健磨唯
 磨吾郎志夫省吉江勇六



和洋紙販賣

京城南大門通二丁目

土佐紙株式會社

電話 長三一五番電 略 〇一
二二七〇番振替 京成八五九

印刷製本

電話 長三一五番電 略 〇一
二二七〇番振替 京成八五九

良品は經濟な
 我社の製革は強靱にして舶來品を凌ぐ
 我社の製革は堅牢にして耐久力に富む
 而して其價格は頗る低廉なり

朝鮮皮革株式會社

京城南大門通

朝鮮皮革株式會社 販賣所

電話一〇八番

朝鯨座の最大なるものである、色はさう二尺許りのエニグルス、カリナ
黄色を帯びた灰色のもので不剛然なウスといふ處がある



古川國治

100



新年之辭

乾輿一轉茲に榮ある新春を
迎ふるに方り
謹みて仁丹愛用家諸賢の
御健康を祝福し偏に特甚の
御睿注を奉深謝候
就ては益々原藥の嚴選を敢
行し以て海岳の御同情に酬
ゆべく候間倍舊の御愛顧只
營奉悃願候 敬白

大正六年一月元旦

仁丹本舖主

森下博

警告

(一) 正眞の我「仁丹」は必ず包裝嚴封の儘販賣し如何なる場合も斷じて開封粒賣を許さず故にバラに放し又は我「仁丹」の包裝を轉用し「小別け」と稱し或は顧客の面前にて眞實らしむるも粒賣する物は皆偽物なり

(二) 包裝は必ず封緘を嚴正にし「森下博藥房」と記入しあり故に開封したるもの或は違名の物は一切偽物なり

金言

△元旦の旭日に向ひ汝一年の大計を立てよ (ローン)
△汝今年の幸福は昨年の努力の報酬なり (英國 伍德)
△日の丸に日徳なし (高橋 彌太郎)